8 礁原タイドプールでよく見られる動植物

イノーと外海の間には大小様々なタイドプールがあります。ここには海藻類、スナギンチャク類、魚類、甲殻類、巻貝類、ウニ・ヒトデ・ナマコ類など多種多様な生き物がいます。これらの生き物は魚のように素早く動くものもいますが、多くは貝殻を被ったり、岩の割れ目や海藻の中、あるいは砂の中に隠れています。体の色や模様も周囲の環境にとても似ています。また、体の大きさが 1cm 足らずの生き物もいます。更に、ナガウニやナマコにはヤドリエビの仲間やカニダマシの仲間などが隠れています。
タイドプールの中の砂や海藻の間を注意深く、目をこらして丹念に探してみてください。

サンゴ類

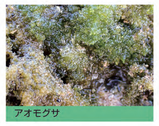
シロマメスナギンチャク

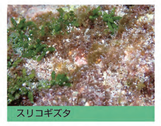
ヒラムシ類

クロニセツノヒラムシ

海藻類

ラッパモクとカゴメノリ


アオモグサ


スリコギスタ

センナリスタ

クロソゾ

魚類

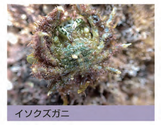
クモウツボ

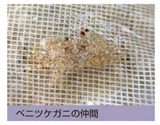
クロヤハズハゼ

甲殻類

シマヤドリエビ

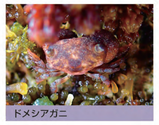
クリイロサンゴヤドカリ


イソクズガニ


ベニツケガニの仲間

ビロウドアワツブガニ

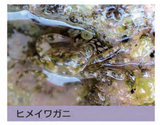
スベスベケブカガニ


ドメシアガニ

ヒメオウギガニ

ケブカオウギガニ

ハシリケブカガニ


ヒメイワガニ

ヒメイワガニモドキ

ヒメカクオサガニ

無脊椎動物（軟体）

リュウキュウシラトリガイ

オニヒザラガイ

アクキガイの仲間

イワカワウネボラガイ

ノシガイ

クモガイ

コオロギガイ

オニノツノガイ

イボニシ

テツレイシ

ムラサキイガレイシガイ

コオニコブシガイ

サヤガタイモガイ

マダライモガイ

ヤナギシボリイモガイ

ミダレシマヤタテ

ナガシマヤタテガイ

タルダカラガイ

キイロダカラガイ

ハナマルユキガイ

ヤクシマダカラガイ

イソアワモチ

ジャノメアメフラシ

ホンクロシタナシウミウシ

ミカドウミウシ

スカシキヌハダウミウシ

ニシキツバメガイ

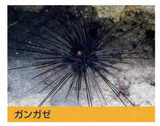
無脊椎動物（棘皮）

ウデフリクモヒトデ

ルソンヒトデ

チャイロホウキボシ

ナガウニ


ガンガゼ

トックリガンガゼモドキ

クリイロナマコ

トゲクリイロナマコ

ジャノメナマコ

リュウキュウフジナマコ

クロナマコ

ニセクロナマコ

オオイカリナマコとニセクロナマコ

トゲオオイカリナマコ

スイイノとその周辺

全体 MAP

観察するスイイノ（イノー：礁池）とその周辺には、概ね 9 つの環境が認められます。
1 ～ 9 です。また、その周辺には地元の人々が利用するために、独特な地名がつけられています。白数字の 10 ～ 15 です。

1. 砂浜移行部分
2. 砂浜（湿潤地）
3. 砂浜（陸際）
4. 岩場
5. 礁原タイドプール（陸側）
6. イノーの縁（礁池）
7. スイイノ（イノー；礁池）
8. 礁原タイドプール（海側）
9. 礁縁
10. フードゥマイ
11. トゥイゼィ
12. フーギジイメィ
13. アーメィウラ
14. トゥンワタイ
15. カイズネィ

注意点

1. 熱中症対策のため、こまめな水分補給を行いましょう。
2. 安全な活動を行うために、服装は注意しましょう。
   （帽子・軍手・マリンシューズやかかと付きのサンダル、できれば長袖・長ズボン）
3. 特に岩場は注意が必要です。絶対に走ったらふざけたりしないようにしましょう。
4. 急な天候の変化があることがあります。特に雲の動きには、注意しましょう。
5. 満潮から潮が引く時間帯は、イノー内にも急な流れが発生します。
   イノーの外には絶対に出ないようにしましょう。

MEMO

KANAMI

金見イノー水族館

ガイドマップ

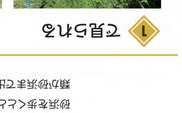
金見崎スイイノ（イノー；礁池）と
その周辺でよく見られる動植物

2021
一般社団法人 金見あまちゃんクラブ

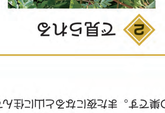
1 2 砂浜でよく見られる植物、カニ類

砂浜へのスロロにはシナガワハギ、コメツブツメクサ、ネナシカズラ、ハマビルガオ、イソヒヨドリ、ハエコウなどのツル植物。
砂浜の所々にハマボウ、タイトコ、ハエニアカザなどが生えています。また、岩場には**ハマウド**、モクセイ科の生長が見られます。ムルガ植物が多かったり
歩いて観察しましょう。
砂浜を歩くところどころに大小様々な巣穴があり ます。これはツノメガニやミナミスナガニの巣です。夫婦になるとお山に住んでいるオカガニ、カクレイワガニ、ヤドカリ
類が砂浜で出てくることもあります。

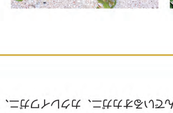
1 で見られる


シナガワハギ

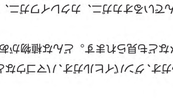
コメツブツメクサ


ネナシカズラ

2 で見られる

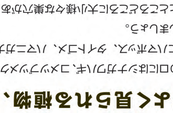

ツノメガニ

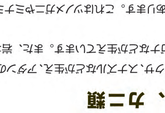
オカガニ

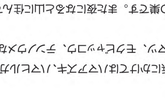

ミナミスナガニ

3 で見られる

ハエドクソウ


ハエアオキ


ウロハギヒカゲ


ハエボクノ

ハエイラ

4 で見られる

ハマウド

モクセイ科

ハカモハイ

ツルクメ

ハエコウ

ハエドクソウ

ハエボクノ

ウロハギヒカゲ

ハエボクノ

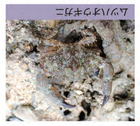
ツルクメ

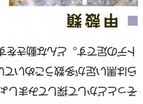
5 礁原タイドプールで よく見られる動植物

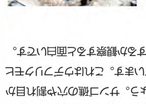
砂浜に一番近い礁原やタイドプールには、貝、蟹、転石、岩石などが多く、まるで生き物のいないような世界のようです。でも、ちょっと湿ったところやタイドプールの転石や岩石の下にはオウギナガニ属、イワガニ属、巻貝類などが隠れています。そこをたがいて探してみましょう。ウツボ類の穴や割れ目からはみ出している数ヒゴがあります。これはウデフリクモヒトデの足です。たくさん動きをするか観察すると面白いです。

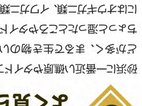
■ 甲殻類

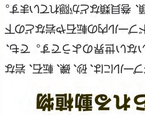
スベスベウニヤドカリ


ムツハラヤドカニ


タウナギカニ


ウツナイソガニ


ヒメスナガニ


ムラサキガニ

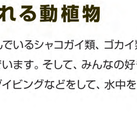
ヒメアカイソガニ

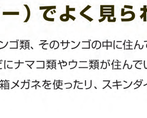
ヒメアカイソガニ

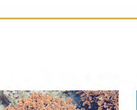
■ 無脊椎動物（軟体、棘皮）

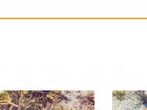
ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ


ウデフリクモヒトデ


キバウオ


ムラサキウニ


ムラサキウニ

ムラサキウニ

ムラサキウニ

ムラサキウニ

ムラサキウニ

6 イノーの縁で よく見られる動植物

スイイノ（イノー）の中にある前に、その縁の部分を観察しましょう。ここには、海藻類、サンゴの子供、マスズキ子ヤクの仲間などがいます。ヒメジの仲間などがのんびりウロウロしているヤマコの仲間、ヒトデの仲間などがのんびり動いています。また、ウツボ類の子供やタマキガニ類などが割れ目などに隠れています。岩からカイの仲間のケヤリムシなどをもみ出ています。特に、海藻などが水のよく通るところには色々な生き物がいます。イノーに落ちないように気をつけて観察しましょう。

■ 海藻類

ヒメスガモ

ウスバウミゾ

ウスエキウモ

ヒメコエ

ウスバイロニア

キクリモウキ

モウミル

ラムセウ

■ 甲殻類

ムツハラヤドカニ

スベスベウニヤドカリ

ウツナイソガニ

タウナギカニ

ムラサキガニ

ヒメスナガニ

ヒメアカイソガニ

ヒメアカイソガニ

■ サンゴ類

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

■ 無脊椎動物（環形、軟体、棘皮）

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

ヒメヨウラクガイ

■ 海藻類

キツネノオ

■ 無脊椎動物

ヒレジャコガイ

イバラカンザシ

ケヤリムシ

オオイカリナマコ

ジャノメナマコ

トックリガンガゼモドキ

■ 魚類

オヤビッチャ

ミスジリュウキュウスズメ

アオヤガラ

ムラサメモンガラ

クモウツボ

マナベベラ

ホンゾメワケベラ

フウライチョウチョウウオ

ツノダシ

サザナミヤッコ

ルリスズメダイ

ダンダラトラギス

チョウチョウウオ

タカサゴ

7 スイイノ（イノー）でよく見られる動植物

ここには大きく成長したサンゴ類、そのサンゴの中に住んでいるシャコガイ類、ゴカイ類、また、サンゴと岩の間の隙間などにナマコ類やウニ類が住んでいます。そして、みんなの好きな魚類がたくさん住んでいます。箱メガネを使ったり、スキンダイビングなどをして、水中をのぞいてみましょう。

■ サンゴ類

ハマサンゴ

エダミドリイシ

シコロサンゴ

ショウガサンゴ

ノウサンゴ

コブハマサンゴとパリカメノコキクメイシ

コブハマサンゴ

コブハマサンゴとトガリシコロサンゴ

ツノハマサンゴとパリカメノコキクメイシ

シロマスカキゴケ

マスカキゴケ

マスカキゴケ

■ 魚類

ルリスズメダイ

ルリスズメダイ

ツノダシ

作成・発行
一般社団法人金見あまちゃんクラブ
〒891-7422 鹿児島県大島郡徳之島町金見 474
TEL 0997-84-9911

日本財団 海と日本 PROJECT
日本財団の助成を受け、作成しました。

動植物写真・文責：鈴木廣志　イノー航空写真提供：徳之島町教育委員会社会教育課

禁無断転載